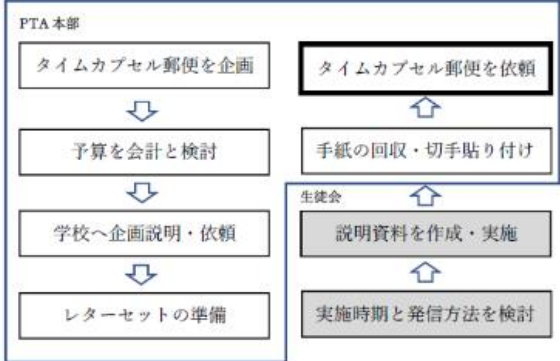


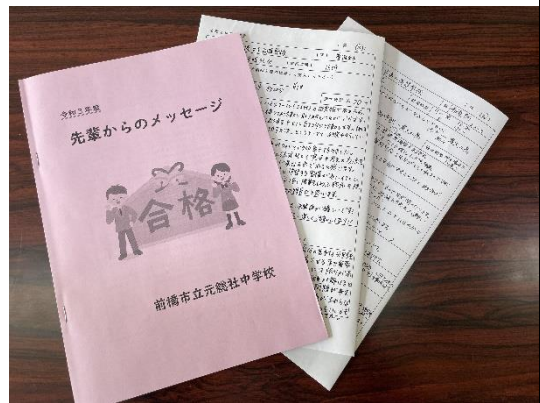
<p>名 称</p>	<p>前橋市立元総社中学校PTA</p>
<p>会 員 数</p>	<p>302人 (令和4年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織 本部役員 20名 会計監査 4名 専門委員会 (進路委員会 22名 広報委員会 18名 学年委員会 25名 支部委員会 29名) 総務委員 12名 (各専門委員会委員長・副委員長)</p> <p>2 運営 ・本部役員会 (年5回) ・総務委員会 (年3回・本部、総務委員参加) ・各専門委員会 (必要に応じて) PTA 総会 (年2回・令和4年度は書面開催) ・地域行事・学校行事への協力 ・定期的に総務委員会を開き、活動の報告・活動予定などを確認したり、確実な引継ができるようにしたりしている。 ・コロナ禍において、活動の見直しを図ったり、新しい取組を模索したりしてきた。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 「タイムカプセル郵便」の実施</p> <p>修学旅行の中止や林間学校の縮小など、思い描いていた中学校生活が十分に送れていないなど、コロナ禍で様々な思いを巡らせている生徒の気持ちを何とか未来へ向けさせようと考え「タイムカプセル郵便」を実施することにした。</p> <p>PTA が予算を検討しレターセットを準備、生徒会本部が中心となって全校生徒に企画を発信して実施した。生徒が主体的に実施方法などを考え、成長の機会を創ることができた。</p> <p>生徒が 20 歳になるときに届く予定になっている。</p>  <p>図：「タイムカプセル郵便」での PTA と生徒会の連携</p> <pre> graph TD subgraph PTA本部 A[タイムカプセル郵便を企画] --> B[予算を会計と検討] B --> C[学校へ企画説明・依頼] C --> D[レターセットの準備] end subgraph 生徒会 E[タイムカプセル郵便を依頼] --> F[手紙の回収・切手貼り付け] F --> G[説明資料を作成・実施] G --> H[実施時期と発信方法を検討] end A --> E D --> F H --> G </pre>

2 「先輩からのメッセージ」発行

進路委員会を中心に、卒業生からの進路情報を冊子にして発行した。

卒業生が進学した高校の紹介、通学方法、入学後の感想などのオリジナルの進路情報誌を作成している。

先輩からの具体的な体験・アドバイスが在校生の参考となっている。



3 進路講演会「ジェンダーって何？」

進路委員を中心に、毎年、テーマを変えている
いかな講演を計画してきた。令和3年度は、前橋市市民部生活課男女同参画センター所長さんを講師に「ジェンダーって何？」を、令和4年度は、(株)ジプロス教育事業部長さんを講師に



「未来と世界を知る」をテーマに講話をしていただいた。

4 広報誌「蒼海」発行

広報委員会を中心に、学校 PTA 新聞「蒼海」を年に 2 回発行し、PTA 活動や学校の教育活動、生徒の学校生活の様子などについて、積極的な情報発信を行った。

5 あいさつ運動実施

校門前にて、生徒と共に保護者が朝のあいさつ運動を実施した。



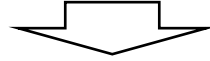
6 体育大会・マラソン大会 交通指導

陸上競技場・マラソン大会では、移動の安全面確保のため、毎年、支部委員が、要所の旗振りを行っている。

名 称	大泉町立西中学校 P T A
会 員 数	3 2 5 人 (令和4年5月1日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>1 組 織</p> <p>○本部役員 (会長1名 副会長4名 総務3名 書記3名 会計4名 顧問2名 会計監査3名)</p> <p>○地区役員 (5つの行政区からそれぞれ5名選出 計25名)</p> <p>2 運 営</p> <p>全家庭が PTA に加入している。本部役員と地区役員から成る「合同役員会」を開催している。この会議には、全役員が出席し、学校行事への協力要請や各種研修会への参加要請を行っている。全地区役員が参加するため、会員の様々な意見を吸い上げることが可能であるほか、会員相互の意見交流や親睦も深めることができている。その結果、建設的な会員の意見が反映され、PTA 活動そのものが改善されつつある。</p>
主 な 活 動	<p>【PTA 活動の負担軽減を目指した新たな体制作り】</p> <p>① 会議の一本化</p> <p>これまでは、会議の種類が「本部役員会、常任委員会、運営委員会、学年委員会、専門部会」と多種であった。令和3年度末に見直しを実施され、本部役員と地区役員から成る「合同役員会」に一本化した。</p> <p>【旧体制】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○本部役員会 (会長・副会長・総務・書記・会計による10名で構成)</p> <p>○常任委員会 (各地区の常任委員・副常任委員による10名で構成)</p> <p>○運営委員会 (本部役員・常任委員・各学年正・副委員長による26名で構成)</p> <p>○専門部会 → 常任委員・学年委員より選出 (文化部・広報部・事業部・補導交通部・保体部による25名で構成)</p> <p>○学年委員会 (各地区から選出される学年委員による15名)</p> </div>

【課題】

- ▲会議の種類が多すぎるため、PTA 役員や PTA 担当教員の混乱を招いている。
- ▲専門部長・副部長や学年正・副委員長の選出（役職決め）に負担感が生じている。



【新体制】

- 本部役員会
(会長・副会長・総務・書記・会計による 10 名で構成)
- 合同役員会 → 全 PTA 役員が参加『会議の一本化』
(本部役員・各地区役員による 35 名で構成)

- ◎年間 9 回程度行っていた会議が 5～6 回程度となり、会議時間も毎回短縮されつつある。
- ◎会議の一本化により、PTA 役員や PTA 担当教員の混乱がなくなった。
- ◎専門部長・副部長や学年正・副委員長の選出（役職決め）の負担感がなくなった。

② PTA 事業担当の新体制づくり

令和 4 年度より専門部会を廃止した。これまで専門部会が担当していた PTA 事業（PTA 行事）を精選かつ 5 分類し、5 つの行政区が輪番で担当することに変更した。各行政地区単位で PTA 行事を受け持つ新たな PTA 活動と体制が確立した。また、行政区担当教諭と PTA 役員とで、各種行事の内容についての直接的な話し合いが行われるため、スムーズな形で学社連携を行うことができている。

担当する PTA 事業	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
合唱コンクール	13 区	17 区	16 区	15 区	14 区
PTA 広報誌の発行	14 区	13 区	17 区	16 区	15 区
スマホ安全教室・親子学習会	15 区	14 区	13 区	17 区	16 区
警備（体育祭・夏祭り）	16 区	15 区	14 区	13 区	17 区
体育祭準備・競技参加	17 区	16 区	15 区	14 区	13 区

【まとめ】

PTA 本部役員および地区役員が、「これからの PTA 活動」をテーマに、活動内容の精選や組織改革を進め、誰もが気軽に取り組める PTA 活動を推進している。